

# 福崎町の狛犬について

1年2組 藤田 捺未

## 動機

神社を参拝すると、狛犬が置いてあるのを見かけますが、顔や形が違うのはどうしてなのか、以前から気になっていたけど、いつも決まった神社しか行かないので、この機会に福崎町の神社を回って、どんな狛犬が置かれているのか調べてみようと思いました。

## 狛犬とは？

- 狛犬とは、獅子や犬に似た、日本の獣で、想像上の生物とされています。
- 神社の社殿前に置かれている狛犬は、獅子といわれ中国漢代以降の石獅子の系統を引くもので、守護神的な性格をもっています。
- わが国で狛犬が出現したのは、平安時代から。
- 一般的に、獅子・狛犬は向かって右側の獅子像が「阿形(あぎょう)」で口を開いている。左側の狛犬像が「吽形(うんぎょう)」で口を閉じている。古くは角を持っていたが、昭和時代以降に作られた物は左右ともに角が無い物が多く、口の開き方以外に外見上の差異がなくなっている。

## ＜参考文献＞

『石造遺品  
福崎町教育委員会  
平成5年発行

• 狛犬分類学序説  
<http://konnainu.net/bunrui0.htm>

• 石造遺物の神崎郡誌(下)  
大沢政雄  
1993年発行

• 狛犬分類学「江戸と畿内」  
<http://konnainu.net/bunrui1.htm>

• 狛犬  
<http://www.98k7k.com/>

• 狛犬分類学3出張  
<http://konnainu.net/bunrui3.html>

項目	内容
住所	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
電話	03-3268-1111
URL	http://www.konnainu.net/



板坂	田口	長野
① 一之宮神社	② 田賀神社	③ 諏訪神社
 <p>左&lt;呼形&gt; 右&lt;阿形&gt; 昭和12年(1937)造立</p>	 <p>左&lt;呼形&gt; 右&lt;阿形&gt; 昭和10年(1935)造立</p>	 <p>左&lt;呼形&gt; 右&lt;阿形&gt; 昭和4年(1929)造立</p>
神谷	福田	福田
④ 大歳神社<神谷>	⑤ 三宮神社	⑥ 大歳神社<福田>
 <p>新 左&lt;呼形&gt; 右&lt;阿形&gt;</p>  <p>古 昭和5年(1930)造立(石)</p>	 <p>左&lt;呼形&gt; 右&lt;阿形&gt; 昭和8年(1933)造立</p>	 <p>左&lt;呼形&gt; 右&lt;阿形&gt; 大正11年(1922)造立</p>

<参考文献>

- 石造遺品  
福崎町教育委員会  
平成5年発行
- 石造遺物の神崎郡隠岐下  
大沢政雄  
1993年発行
- 石造遺物の神崎郡隠岐下  
大沢政雄  
1993年発行
- 犬大分類学序説  
<http://komainu.net/bunrui0.htm>
- 犬大分類学1 江戸と畿内  
<http://komainu.net/bunrui1.html>
- 犬大分類学3 出雲  
<http://komainu.net/bunrui3.html>
- 犬大 - Wikipedia  
<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=%E7%9A%84%E7%9A%A7>

山崎  
⑦ 二之宮神社



左<吠形>



右<阿形>

大正8年(1919)  
造立

新町  
⑧ 新町天満宮



左<吠形>



右<阿形>

昭和58年  
(1983)造立

西治  
⑨ 八幡神社



左<吠形>



右<阿形>

平成2年  
(1990)造立

高橋  
⑩ 廣田神社



左<吠形>



右<阿形>

明治38年  
(1904)造立

井ノ口  
⑪ 恵美須神社 & 大国主神社



左<吠形>



右<阿形>

明治39年  
(1906)造立



左<吠形>



右<阿形>

昭和8年  
(1933)造立  
古(複製)

辻川  
⑫ 鈴ノ森神社



左<吠形>



右<阿形>

昭和18年(1943)造立(複製)

北野  
⑬ 北野天満神社



左<吠形>



右<阿形>

明治44年  
(1911)造立

西野  
⑭ 田山鳥神社



左<吠形>



右<阿形>

造立年月日  
不明

田原  
⑮ 熊野神社



左<吠形>



右<阿形>

明治35年(1902)造立

吾田  
⑯ 三十八社



左<吠形>



右<阿形>

平成12年  
に再建

八反田  
⑰ 八坂神社



左<吠形>



右<阿形>

大正12年  
(1923)造立

<参考文献>

●『石造遺品』  
福岡町教育委員会  
平成5年発行

●『狛犬分類学序説』  
<http://komainu.net/bunrui20.htm>

●『石造遺物の神埼郡誌(下巻)』  
大沢政雄  
1993年発行

●『狛犬分類学』江印と畿内  
<http://komainu.net/bunrui1.html>

●『狛犬』-Wikipedia  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%98%96%E7%98%A6>

●『狛犬分類学』3出雲  
<http://komainu.net/bunrui3.html>

中島大  
⑱ 與位神社



昭和三十二年  
(1936) 造立

大門

⑳ 大年神社(大門)



大正十二年  
(1923) 造立

東大貫

㉑ 天満神社(東大貫)



天保十年  
(1839) 造立

余田

㉒ 大歳神社(余田)



天明四年(1784) 造立  
(町内敷志)

＜参考文献＞

- 『石造遺品』  
福崎町教育委員会  
平成5年発行
- 『狛犬分類学序説』  
<http://komainu.net/bunrui0.htm>

長日  
⑲ 藤田神社



造立年月日  
不明

亀坪

㉓ 大歳神社(亀坪)



安政四年  
(1857) 造立

南大貫

㉔ 大年神社(南大貫)

西光治  
㉚ 住吉神社



昭和29年  
(1954) 造立

西大貫

㉓ 日吉神社



天保4年  
(1833) 造立

左

㉔ 地神社



大正2年  
(1913) 造立

鍛冶屋

㉔ 熊野神社(鍛冶屋)



明治9年  
(1876) 造立

小倉

㉔ 若宮神社



造立年月日  
不明

- 『石造遺物の神奈郡誌(下)』  
大沢政雄  
1993年発行
- 『狛犬分類学』江戸と畿内  
<http://komainu.net/bunrui1.html>

- 狛犬 - Wikipedia  
<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=%E7%BE%8A%E7%9A%A7%AC>
- 狛犬分類学3 出雲  
<http://komainu.net/bunrui3.html>

# <調べて分かったこと>

## 狛犬の分類

- 地域によるもの
  - ・越前禿
  - ・浪花(畿内)
  - ・江戸
  - ・出雲(丹後)……など
- 材料によるもの
  - ・石
  - ・木
  - ・アロンス
  - ・焼き物 …… など

## <特徴>

	江戸型	浪花型	出雲型
目	やや小さめ	大きなぎょろ目	フリヤかっている 空豆型
耳	伏せ耳	折れ耳	たれ耳
鼻	大きくない	大きく団子鼻	獅子鼻
ひげ	あごひげがカール	両脇に少し	短めのあごひげ
歯	あまりない	阿型は多くか むき出している	
子獅子	1〜3頭付属	いても1頭どまり	
ポーズ	ほとんど おすわり型	おすわり型	・お座り型 ・構え獅子型
その他	前髪カールして 中央分け		材料 <small>※特石(鳥根原産)は ほとんどない 理石(安曇野産)は ほとんどない</small>

- 福崎町の現存のものは、これらの特徴により、ほぼ「浪花型」であることが分かった。

## <感想>

町内には多くの神社があり、見て回るのが大変でした。狛犬には、きまりがなく、地域の石工業者によって型が違っていることが分かりました。風化によって新しく造立されているものもあって、井ノ口の恵美須神社は、古いものが手洗い石のところに置いてありました。古いものも保存していけるといいなと思いました。

## <参考文献>

- 『石造遺品』  
福崎町教育委員会  
平成5年発行
- 『石造遺物の神崎郡誌(下)』  
大沢政雄  
1993年発行
- 狛犬 - Wikipedia  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%BB%98%E7%8A%AC>
- 狛犬分類学序説  
<http://komaiju.net/bunrui0.htm>
- 狛犬分類学1 江戸と畿内  
<http://komaiju.net/bunrui1.html>
- 狛犬分類学3 出雲  
<http://komaiju.net/bunrui3.html>